

ももたろう基金～「平成30年7月豪雨災害支援基金」～

第10次(災害支援・復興)助成金申請書

【団体情報に関すること】

ふりがな	いのりんじゃばん		
団体名称	いのりんジャパン		
代表者職名	代表	ふりがな	いしはら やすひろ
		代表者氏名	石原 靖大 
ふりがな			
団体住所			
電話番号		F A X	
設立年もしくは活動年数	2018年7月17日設立		
スタッフ数	有給スタッフ _____ 2名・無報酬スタッフ _____ 3名・ボランティア等 _____ 700名		
団体HP(あれば)	http://dp11059478.lolipop.jp/inolinjapan/		
FBページ(あれば)	https://www.facebook.com/いのりんジャパン-JAPAN-204477603546345/		
CANPAN登録 (原則必須)	なし・ <u>あり</u> (星4つ) 【団体ID: 1201951652】		

※申請に関する事務担当連絡先(団体と異なる場合・電話番号については携帯電話など出来る限り直接本人につながるもの)

担当者役職名(必須)	代表	ふりがな	いしはら やすひろ
		担当者氏名	石原 靖大
郵送物送付先住所			
担当者電話番号 (極力携帯番号)		担当者 e-Mail	

※本用紙に記載の個人情報は、本事業の実施にのみ使用します。

申請事業の内容

事業名 (プロジェクト名)	真備町のコミュニティ支援・子ども支援を通して町を活性化する活動
事業概要 (事業内容を簡単に)	真備町内における環境回復、復興支援活動、子育て支援・新入学・新入園支援などの活動
活動(予定)期間	2019年 12月 1日 ~ 2020年 3月 31日
活動(予定)場所	倉敷市真備町
受益者数	直接受益者 (2000名) 間接受益者 (4000名) ※いる場合
事業の必要性(背景)と目指すゴール(目指す状況)	
<ul style="list-style-type: none"> ・現状や支援対象者の状況(支援対象者との現在の関係性についても必要に応じて記入) ・事業を実施することで被災地や被災者がどのような状況になることを目指すのか 	
<p>真備町内にて家屋内外問わず支援の行き届いていないところ、また支援が必要なところが未だ残っている現状がある。またそのような中で2020年度の新入学、新入園への準備の時期にもなってくるが個々の家庭における復旧状況にはかなりのばらつきがある。</p> <p>そういった中で学童支援や子ども支援の経験も生かした丁寧なヒアリングを行い、的確な支援体制を整え、必要な支援が出来る体制を他団体との連携を持って整えること、そういった活動の中に今後の防災意識を高める要素、コミュニティ内での人間関係の構築を促進する要素を取り入れることを工夫する。また今後同じような状況が起った時の作業ノウハウを伝えるために現在でもまちづくり推進協議会や地域の方々と共にクリーン作戦のようなイベント型の活動も行っている。通常時の活動や行政、地域との調整にも時間をとり、ニーズの把握、具体的な活動内容プランを随時見直しつつ、少数から大人数まで現地の状況やボランティア参加のニーズに基づいてマッチングし活動している。</p> <p>災害復興イベントというかたちから、地元の方が活気づくイベントなどを日本や世界の流行なども取り入れて行っていきたい。</p> <p>支援する側とされる側という垣根をこえて、共に地域の復興を考え、歩んでいくというプロセスを経過し、防災意識の強い個人、地域を建て上げることがゴールとなる。</p>	

事業の実施内容

・どのようなことをいつ（回数等）やるのか

- ・少人数で家屋の洗浄や床剥ぎなどの活動や野外における災害ゴミ清掃活動、公園などの復旧活動（週 1-4 日）
- ・1~2 ヶ月に一回ほどのペースでクリーン作戦を随時地域や他団体との連携の中で実施予定
- ・2020 年 3 月 20 日（金祝）第三回目 KIZUNA フェスタを実施、すでにミーティングは始まっており、主催の倉敷市真備町緑化協会と協議を進めている。今回も企画運営として関わることが決定している。特に今回は大きなひとつの区切りとなるということでゲスト選定のバランス、真備の住民の方がどのように関わられるか、参加したくなるかということ意識してイベント企画を立案している。徐々に家の再建が進む中で地元の方々の再会の場となり、復興が進んでいると実感出来る場となるよう調整を進める。
- ・子ども支援イベントを倉敷市学童保育連絡協議会などと連携し、12-3 月に企画。内容としては子どもの預かり支援（学童）の現状でニーズの狭間になっている土曜日や祭日に実施し、地域の子どもの居場所、遊び場を提供、その中に HAG などの防災意識を高める要素を取り入れたり、またよりの確な子ども支援につなげるためのヒアリングも行う。
- ・真備の安全パトロール スマートフォンでの撮影に GPS 情報が入ることを利用して真備の危険箇所や復旧の必要な箇所を可視化する活動を随時行う。時期的に 12 月からは 2 周目となるため前回の箇所がどのようにになっているのかの比較に重点を置く

事業の実施体制

・事業実施にあたり、自団体の取り組みメンバーや連携先の団体など

作業系取りまとめ 代表 石原靖大

子育て支援とりまとめ 事務局長 石原宣恵

会計 石坂光寛

連携先・倉敷市役所子育て支援課・倉敷市学童連絡協議会・真備支所建設課・真備支所産業課・国土交通省・備中県民局
倉敷市役所教育企画総務課・箭田地区まちづくり推進協議会・真備シェア・災害支援ネットワーク NPO かけはしまごころ届け隊・真備技術支援チーム・スマイリング・倉敷青年会議所など

事業実施後の展望

- ・助成期間後も活動を継続する場合はその内容や展望
- ・助成期間をもって事業終了の場合は、その後の支援対象者の状況

危険リスク調査や屋外での復旧支援活動は随時出てくるため継続する必要があると考えられます。側溝に関しては真備支所建設課と情報共有する中でいったんの目処がつかしました。

その分今問題となっている草刈りや公園の整備などのニーズについて今後の継続活動の中で消化していきたいと考えています。

現状直接的な寄付金は災害当初と比較してほぼなくなっているような状況となっているが寄付金獲得にも今まで以上にアピールしていきたい。また特に助成金からすべての経費を捻出することが難しい KIZUNA フェスタに関連する経費などをクラウドファンディングの活用も挑戦したい。

その他

・その他事業実施にあたり、特に必要なことや P R

今回の申請にあたり、2020 年度からの活動に関して他の助成金にも挑戦しながらすべての活動を進めていくよう調整しています。その中でも特に重要なのが人件費になります。しかし人件費、交通費を助成していただける助成団体は限られているため今回の助成金での申請内容に関して特に人件費と交通費に特化したかたちにさせていただいております。特に子ども支援を考える時に 2020 年度の新入学・新入園だけでなく夏休みの居場所作りなどの支援の必要もあり、2 年の経験を生かしてよりの確な支援につなげていきたいと考えております。よろしくお願い致します。

※この用紙に収まらない場合は、別紙企画書など添付ください。ただし、概要についてはこのページ1枚にまとめてください。

実施予算 ※価格の根拠が分かるものなど必要に応じて添付ください。

※収入と支出の合計をあわせてください。

1) 本事業の収入

費 目	金 額	備 考
ももたろう基金（助成申請額）	300,000	
合 計	300,000	

2) 本事業の支出

費 目 （必要な場合算出根拠）	金 額	備 考
人件費 12000 円×6 日 4 ヶ月分	288,000	
燃料代（車両：軽油・ガソリン・発電機燃料）月 4000 円×4 ヶ月	10,000	
消耗品（インク・紙・手袋・テープ・筆記用具など）	2,000	
合 計	300,000	

備考欄

--